

さっぽろ医療連携セミナー

Sapporo Medical Cooperation Seminar

開催のご案内

ごあいさつ

2008年4月に札幌市東区で札幌心臓血管クリニックを開院して以来、お陰様で満16年を経過することができました。この間数多くの患者様を御紹介いただきまして誠に有り難うございました。

当クリニックは、豊富な臨床経験を有する循環器専門医が最新の診断機器を駆使し、循環器疾患を有する患者様に最新最良の医療を提供することを目標として開設されました。そこで、札幌市内で第一線の臨床を担当されている諸先生に、当クリニックが目指す循環器診療をご紹介させていただく情報交換の場として、『さっぽろ医療連携セミナー』を開催することといたしました。今年度は皆様の日々の診療に役立つ新しい情報を提供できますよう6回のセミナーを企画いたしましたので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本セミナー企画担当 / 医療法人 札幌ハートセンター理事 / 札幌心臓血管クリニック
佐藤 勝彦

- **開催日程**：裏面をご参照ください
- **開催時間**：午後7時から1時間（6時50分から製品話題提供）
- **開催場所**：ホテルマイステイズ札幌アспен2階「アспенA」
札幌市北区北8条西4丁目5番地 TEL 011-700-2111
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、Web開催になる場合もございます。各回でご確認ください。
- **連絡先**：医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック
（担当者窓口：地域連携課 [直通] 011-787-7778）
※または各回の共催製薬会社 MR
- **その他**：参加費無料です（軽食付き）
診断に迷った心電図など、何でもお持ち寄りください。ご相談に応じます。



札幌ハートセンター 〈役員のご紹介〉

〈医療法人札幌ハートセンター〉
理事長
最高医療責任者（CMO）
〈札幌心臓血管クリニック〉
院長
循環器内科

藤田 勉
ふじた つとむ

〈医療法人札幌ハートセンター〉
理事
連携・マーケティング最高責任者（CCMO）
循環器内科

佐藤 勝彦
さとう かつひこ



医療法人 札幌ハートセンター
札幌心臓血管クリニック

2024年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月10日(水)

「抗血小板剤と胃粘膜障害」

動脈硬化による血栓性疾患に対しては通常抗血栓薬を投与しますが、同時にこれによる消化管粘膜傷害が懸念されます。その病態や管理などについてわかりやすくお話していただきます。

さいわい内科消化器クリニック

演者：藤田 朋紀 先生

共催：武田薬品工業（株）

6月5日(水)

「アクティブシニアへの心房細動の治療について」

心房細動患者に生じる心原性脳血栓塞栓症は重篤な後遺症を残すため抗凝固療法が必須です。その実際の処方例などについてわかりやすくお話していただきます。

帯広厚生病院

演者：西田 絢一 先生

共催：バイエル薬品（株）

8月7日(水)

「糖尿病治療の最前線」 ＝ 私の処方と考え方 ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈硬化に関与しています。新しい血糖降下薬などの話題を中心にその管理と実際の処方についてお話していただきます。

栗原内科

演者：栗原 弘義 先生

共催：田辺三菱製薬（株）

10月9日(水)

「心房細動と心不全の密接な関係について」

心房細動は心原性血栓塞栓症の原因となるだけでなく、慢性化するとうっ血性心不全を惹起する場合があります。心房細動の管理や心不全の予防等について分かりやすく解説していただきます。

札幌医科大学

循環器腎臓代謝内分泌内科学講座

演者：矢野 俊之 先生

共催：ファイザー/ブリストルマイヤーズ（株）

12月4日(水)

「急性期から慢性期にわたる心不全管理について」

心不全の管理は発症時の急性期治療のみならずリハビリを含めた長期にわたる慢性期治療やその予防も重要です。新しい経口心不全治療薬の話題も含めて一連の心不全管理を分かりやすく解説していただきます。

あさぶハート・心リハクリニック

演者：津田 正哉 先生

共催：ノバルティスファーマ（株）

2月5日(水)

「脳梗塞の予防から最新治療まで」

脳梗塞の原因として心房細動による心原性血栓があります。その予防と脳梗塞に対する急性期治療の最新情報を分かりやすく解説していただきます。

札幌麻生脳神経外科病院

演者：齋藤 久泰 先生

共催：第一三共（株）